

さんつな通信

2014年10月1日号



発行元：
一般社団法人三陸ひとつなぎ
自然学校
釜石市橋野町34-46-1
電話/FAX 0193-55-4630
発行責任者：代表理事 伊藤聰
編集人：ぱりー、みけねこ

森とえほんフェス 9月28日

9月28日、栗林町のバス停『道々』近くの森にて、森とえほんフェスを行いました。わらべうたライブや、絵本の読み聞かせなど、森と絵本にちなんだ様々な催しを行い、100人を超えるたくさんの地域の方々や親子連れでにぎわいました。

会場となった森は、もともと栗園だった場所を、栗林町の栗澤陽一さんから提供してもらっています。これまで市内外のボランティアさんや地域の方々と一緒に整備をしてきました。普段は放課後子ども教室で、子どもたちの遊び場として使用しています。今後は冒険遊び場や癒しの空間など様々ななかたちで活用していく予定です。

坂野知恵さんのわらべうたライブ
おとなも子供どもも楽しめるわらべうた。子どもたちも真剣に聞き入っていました。

保坂広子さん講師による親子ヨガ

森の紹介
さんつなタツフの柏崎から、森の紹介をしました。

地元の皆さんには、豚汁のふるまいや、パン、だんご、野菜などの販売コーナーで、フェスを盛り上げていただきました。

森の遊び場で思いっきり遊んだよ！

9/1~7 根浜で人と地域をつなぐ『コミもり』づくり

9月1~7日までの7日間、根浜の宿『宝来館』周辺の森にて、人と地域をつなぐ場『コミもり』づくりを行いました。

コミもりとは、コミュニティーと森を合わせた造語で、北海道の団体発祥の取り組みです。森の手入れを通して、人と人、人と地域、人と森をつなぐという意味があります。

さんつなはこのコミもりを、地域の方々が集まる場として、また観光ツアーの拠点となる場として、使用する予定です。

今回は、講師に長野県在住の美術家、小池雅久さんを招き、森林組合から譲り受けた木材などを活用し、かまどや薪小屋、東屋などを作成しました。

11月4~9日には、コミもりづくり第2弾を行い、最終日には完成パーティーを行う予定です。



最終日の7日にはワークショップを開催しました。
多くの方々のご参加、ありがとうございました！
(詳細は裏面『さんつなボランティアさんの紹介』)



↑Before

After→

三陸ひとつなベキャンプ2

9月14、15日の2日間、整備したばかりのコミもりでキャンプを行いました。市内の小学生11人が参加、講師の上田さんやスタッフなどと共に2日間を過ごしました。手作りのマイ背負子での柴刈りや火起こし、塩づくりやカニ釣りなど、海と山、両方が楽しめるキャンプとなりました。



キャンプのゴールは『塩ラーメン』をつくる！